

## 5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 箇所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク、さらには水中遺跡や戦争遺跡等、その種別は多岐にわたる。埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

平成 31・令和元年度の開発事業計画地域内の「埋蔵文化財の所在の有無」の照会・協議は 8 件あり、うち 1 件は包蔵地内のため当該市町村教育委員会との調整を指示している。

周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）内での民間工事に伴う 93 条及び公共事業に伴う 94 条の届出は 46 件であった。回答の内訳は、慎重工事 12 件、工事立会 18 件、発掘調査 16 件となっている。また、このうちで米軍基地に関連する届出は 6 件あり、うち 5 件は発掘調査の回答とした。また市町村別の内訳では、名護市 10 件、那覇市 8 件、宜野湾市 6 件、豊見城市 5 件、宮古島市 4 件、嘉手納町・与那原町 2 件、伊是名村・大宜味村・今帰仁村・読谷村・北谷町・西原町・糸満市・南城市・竹富町 1 件であった。

96 条及び 97 条に係る遺跡発見届及び通知は 12 件である。これに対する措置は、慎重工事 1 件、工事立会 1 件、発掘調査 10 件となった。市町村別の内訳では、宮古島市 10 件、浦添市・那覇市 1 件であった。

102 条に係る埋蔵物の監査及び文化財認定は 48 件であった。

107 条に係る出土文化財の譲与申請は 2 件であった。

92 条第 1 項に係る発掘調査の届出は 1 件であった。

99 条第 1 項に係る発掘調査の報告は 35 件であった。調査目的の内訳は、各種開発に伴うものが 29 件、保存目的の範囲内容確認調査 4 件、学術研究を目的とした調査 2 件である。調査主体者の内訳は、那覇市 7 件、沖縄県立埋蔵文化財センター・名護市教育委員会 6 件、宜野湾市教育委員会 5 件、大宜味村教育委員会・南城市教育委員会・沖縄県立博物館美術館 2 件、伊是名村教育委員会・沖縄市教育委員会・嘉手納町教育委員会・北谷町教育委員会・糸満市教育委員会 1 件である。

その他、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が開催する文化財担当者専門研修への参加が 6 件、鉱業法第 24 条の規定に基づく協議が 3 件あった。

なお、県内では正規の埋蔵文化財専門職員数は概ね 90 名前後で、平成 28・29 年度には一時的に増加したが、平成 30 年度以降は 89 名に戻り以後横ばいである（図 1）。発掘調査件数の推移では、平成 25 年度以降に工事件数が増大しており、試掘件数もそのやや前の平成 23 から 26 年度にかけて急増した。その後平成 27 から 29 年度はやや減少していたが、平成 30 年度より再度増加しており、今後の状況が注視される（図 2）。発掘調査費用は、平成 29 年度は本調査経費の増、平成 30 年度は試掘件数の増に伴って経費も急激に増加し、平成 30 年度には 30 億円に迫る状況となっていることが確認できる（図 3）。

図1 沖縄県内埋蔵文化財担当職員数の推移

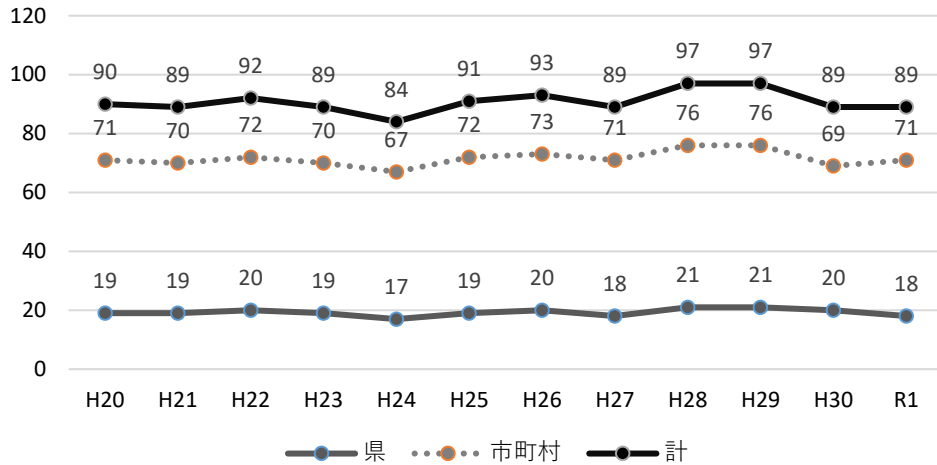


図2 沖縄県内における発掘調査件数の推移

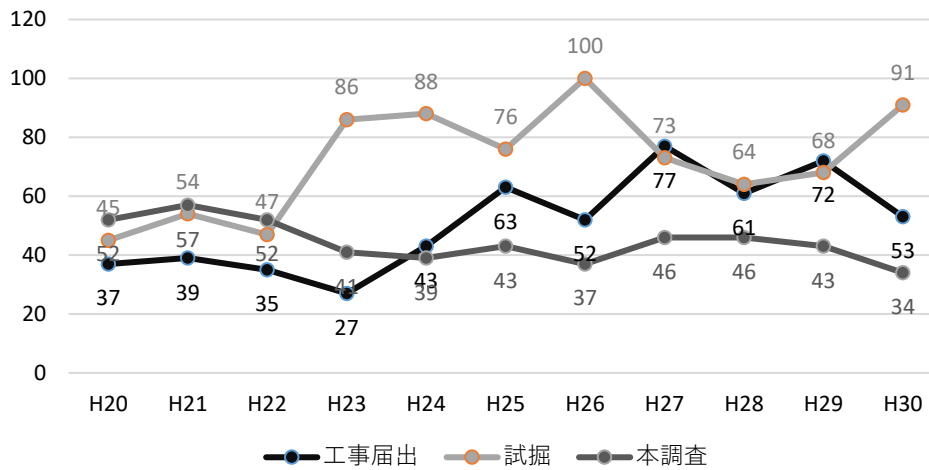
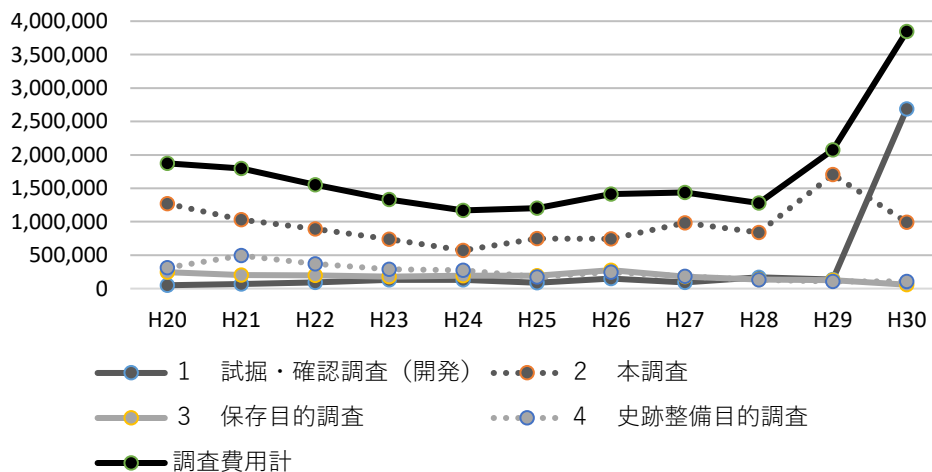


図3 沖縄県県内の発掘調査経費の推移(単位：千円)



(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目No.	所在地	開発等の種別	照会者	回答内容（所在文化財）
1	うるま市石川東山原3178番 他20筆	牧草地の造成	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
2	金武町字屋嘉小浜原2740番地 他3筆	共同住宅（分譲マンション）	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
3	石垣市桃里真武名53番9ほか12筆	リゾートホテル建設	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
4	石垣市字伊原間イガイス原166番 他8筆	リゾートホテル建設	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
5	名護市字屋部長筋山1791番4 他8筆	農地造成	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
6	宮古島市平良字下里2556-1	太陽光発電設備の設置	沖縄県企画部土地対策課長	下里真久底の古墓が所在するため、宮古島市教委と事前調整を指示。
7	石垣市字新川富崎1620番1、1585番87 他3筆	駐車場整備	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外
8	国頭郡本部町字伊豆味上土茶原3423番1、3424番2	太陽光発電設備	沖縄県企画部土地対策課長	包蔵地外

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	真喜屋平田遺物散布地	名護市	個人	個人住宅	工事立会
2	喜友名山川原丘陵古墓群 安仁屋・新城インジャー流域古墓群 普天間旧道跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発 (不発弾経層探査)	発掘調査
3	喜友名山川原第四遺跡 喜友名山川原第五遺跡 喜友名山川原第六遺跡 喜友名山川原第九遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発 (不発弾経層探査)	慎重工事
4	嘉数原遺物散布地	豊見城市	一建設株式会社 代表取締役	個人住宅	工事立会
5	島ノ前原遺跡	与那原町	与那原町長	その他建物 (庁舎等建設)	慎重工事
6	嘉手納貝塚東遺跡	嘉手納町	嘉手納町長	公園造成	発掘調査
7	安仁屋・新城インジャー流域古墓群	宜野湾市	宜野湾市長	土地区画整理	発掘調査
8	識名4丁目の壕群	那覇市	那覇市長	その他開発 (地下壕対策)	工事立会
9	佐真下屋取古集落	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発 (不発弾経層探査)	発掘調査
10	伊佐伊利原遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
11	島之上原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
12	大堂原貝塚	名護市	株式会社 日建ハウジング代表取締役	その他開発 (土地区画変更)	工事立会
13	中城御殿跡	那覇市	沖縄県土木建築部 南部国道事務所長	その他開発 (落石対策)	工事立会
14	真地御殿後原遺跡	那覇市	光明寺 代表役員	その他建物 (寺院)	発掘調査
15	友利遺跡	宮古島市	ウエルビング株式会社 代表取締役	その他建物	発掘調査
16	島ノ前原遺跡	与那原町	与那原町長	その他建物 (仮設プレハブ)	慎重工事
17	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	名護市長	その他建物 (公衆トイレ)	工事立会
18	久志貝塚	名護市	名護市長	その他建物 (倉庫)	工事立会
19	アパヌク貝塚	名護市	個人	個人住宅	工事立会
20	友利元島遺跡	宮古島市	有限会社 アミココーポレーション代表取締役	その他開発 (ホテル建設)	発掘調査
21	下里真久底の古墓	宮古島市	株式会社 プレグリッ プエナジー代表取締役	その他開発 (太陽光発電所)	発掘調査
22	壺屋古窯群	那覇市	個人	個人住宅	発掘調査
23	楚辺徳地原遺跡C 楚辺徳地原遺跡D 楚辺徳地原遺跡F	読谷村	沖縄防衛局長	その他建物 (倉庫等)	発掘調査
24	伊是名貝塚	伊是名村	伊是名村長	その他開発 (污水管敷設)	工事立会
25	チチンタグスク	西原町	個人	その他開発 (墓地建設)	工事立会
26	ナングシク遺跡群	名護市	沖縄県土木建築部 北部土木事務所長	その他開発 (災害復旧)	工事立会
27	溝原貝塚	名護市	株式会社 アイダ設計 代表取締役	個人住宅	慎重工事
28	後兼久原遺跡	北谷町	北谷町長	その他建物 (公共施設)	工事立会
29	鏡水水溜屋原B遺跡	那覇市	南部国道事務所長	道路	発掘調査
30	壺屋古窯群	那覇市	個人	個人住宅	発掘調査
31	嘉数原遺物散布地	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
32	喜友名山川原第三遺跡 喜友名山川原第六遺跡 喜友名山川原第七遺跡 喜友名下原第一遺跡 喜友名下原第二遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発 (不発弾経層探査)	発掘調査
33	上座ヌ殿遺跡	糸満市	沖縄蟻の会	遺骨収集	慎重工事
34	兼久集落跡・野国後原西遺跡	嘉手納町	在沖アメリカ軍 第718施設 中隊環境保全課長	その他建物 (給油施設)	発掘調査
35	高安前原古墓群	豊見城市	豊見城市長	道路	発掘調査
36	識名原遺跡	那覇市	個人	その他建物 (寄宿舎)	工事立会
37	根路銘遺跡	大宜味村	個人	個人住宅	慎重工事
38	壺屋古窯群	那覇市	個人	個人住宅	工事立会

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
39	翁長原遺物散布地 (A地点)	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
40	大泊浜貝塚	竹富町	西日本電信電話株式会社 沖縄支店長	その他開発 (通信施設)	工事立会
41	屋部川河口古瓦出土地	名護市	株式会社 クリアフィールド 代表取締役	宅地造成	慎重工事
42	渡喜仁浜原貝塚	今帰仁村	京阪電鉄不動産株式会社 代表取締役	観光開発	慎重工事
43	大堂原西遺跡	名護市	個人	個人住宅	工事立会
44	上田古島遺跡	豊見城市	株式会社 新伸興業	個人住宅	慎重工事
45	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
46	保良前方原遺跡	宮古島市	沖縄防衛局長	道路・宅地造成・ガス・電気・水道	慎重工事

### (3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	発 見 地	遺跡名	届出・通知者	原 因	措置状況
1	沖縄県宮古島市城辺字新城狭間629-1	狭間古墓群	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	土木工事	発掘調査
2	沖縄県那覇市当間12、沖縄県那覇市当間14	当間原塚3	沖縄防衛局長	土木工事	工事立会
3	沖縄県宮古島市伊良部字長浜大多良原	長浜習原の古墓群	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	その他 (工事公告)	発掘調査
4	沖縄県宮古島市城辺字下里添ウヅラ嶺	第2ウヅラ嶺の塚	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	その他 (不発弾探査)	発掘調査
5	沖縄県宮古島市城辺字保良38	南西方の古墓	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	土木工事	発掘調査
6	沖縄県宮古島市城辺字西里添西底原674-1、674-2	西底原の古墓群	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	その他 (不発弾探査)	発掘調査
7	沖縄県宮古島市城辺下里添919番地	下里添更竹の古墓	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	その他 (工事公告)	発掘調査
8	沖縄県宮古島市城辺長間1960	長間越地の古墓	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	その他 (土地改良)	発掘調査
9	沖縄県宮古島市城辺字狭間617	新城狭間の古墓群	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	土木工事	発掘調査
10	沖縄県浦添市字屋富祖露原545-1	屋富祖露原古墓群	沖縄防衛局長	土木工事	慎重工事
11	沖縄県宮古島市城辺字長間西更竹670番2の横の里道	長間西更竹の古墓	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	土木工事	発掘調査
12	沖縄県宮古島市平良字西里886-1、1887-1	西野原越の塚	沖縄企画開発(株)代表取締役社長	土木工事	発掘調査

### (4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	豊見城グスク	H31. 3. 22	豊見城市教育委員会教育長	豊見城市長	陶器片、磁器片、金属製品、石製品、瓦、現代遺物等 {8箱}	豊見城市教育委員会

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
2	浦添城跡	H31. 3. 29	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	陶磁器、瓦、銭貨、土器、貝類、動物遺体など {22箱}	浦添市教育委員会
3	仲間火ヌ神	H31. 3. 29	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	陶磁器、瓦、貝類、動物遺体など {29箱}	浦添市教育委員会
4	勝連城跡	H31. 3. 29	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器(中国産陶磁器、沖縄産陶器ほか)、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等) {5箱}	うるま市教育委員会
5	首里高等学校内中城御殿、大美御殿、かち木植所跡	H31. 4. 24	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材等 {150箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
6	具志原貝塚	H31. 3. 29	伊江村教育委員会教育長	伊江村長ほか	土器片・石器・貝製品・貝類・獣魚骨類・人骨 など {75箱}	伊江村教育委員会
7	安仁屋トウヤマ遺跡	H31. 3. 29	宜野湾市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、獣骨、陶器等 {1箱}	宜野湾市教育委員会
8	新城下原第二遺跡	H31. 3. 29	宜野湾市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、獣骨、貝類、沖縄産陶器、木杭等 {2箱}	宜野湾市教育委員会
9	真珠道跡	H30. 11. 16	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類など {12箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
10	松崎馬場跡	H30. 12. 27	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類など {6箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
11	知念城跡	H31. 3. 29	南城市教育委員会教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器 等 {4箱}	南城市教育委員会
12	大堂原貝塚	R1. 6. 25	名護市教育委員会教育長	株式会社 日建ハウジング	土器、石器、貝 等 {1箱}	南城市教育委員会
13	真栄里撫原古墓群	R1. 6. 28	石垣市教育委員会教育長	株式会社 リーテック	土器片、陶磁器片、自然遺物(人骨)等 {20箱}	石垣市教育委員会
14	仲村渠殿遺跡	R1. 8. 2	南城市教育委員会教育長	個人	土器、カムイヤキ、磁器、沖縄産陶器等 {3箱}	南城市教育委員会
15	金武鍾乳洞遺跡・金武グスク	R1. 8. 19	沖縄国際大学 上原 静	金武区長	土器片、石器及び破片、カムイヤキ、青磁、白磁、刀子、貝殻、獣魚骨片及び化石人骨片 {2, 125点}	沖縄国際大学
16	(場所) 沖縄県宜野湾市字喜友名(西普天間住宅地区返還跡地内)	R1. 8. 30	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	青磁、染付、沖縄産陶器、本土産陶磁器、木杭など {2箱}	宜野湾市教育委員会
17	根謝銘城跡	R1. 8. 30	大宜味村教育委員会教育長	大宜味村長	磁気、陶器、土器、鉄製品、銅製品、獣骨類、魚骨類等々一式 {5箱}	大宜味村教育委員会
18	(場所) 沖縄県中頭郡北中城村字瑞慶覧、喜舎場地内	R1. 9. 24	北中城教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶磁器、歯ブラシ、砂岩、タイル等 {14点}	北中城教育委員会
19	中城御殿跡	R1. 12. 4	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類など {20箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
20	(場所) 沖縄県名護市字辺野古360-18	H30. 3. 30	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	瓦、陶器、磁器 {3点}	名護市教育委員会
21	(場所) 沖縄県名護市字辺野古439他	H31. 3. 29	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、陶磁器、貝製品、古銭等 {8箱}	名護市教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
22	普天間石川原遺跡	R1. 12. 13	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、獣骨、石材 {10箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
23	ガルマンドウ原洞穴遺跡	H30. 11. 28	八重瀬町教育委員会教育長	株式会社宮昌工業	陶磁器類、土器、人骨、獣骨、貝類 {1箱}	八重瀬町教育委員会
24	伊佐伊利原遺跡	R1. 7. 12	宜野湾市教育委員会教育長	個人	土器、貝、沖縄産陶器 等 {2箱}	宜野湾市教育委員会
25	普天間石川原遺跡	R1. 12. 13	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、獣骨、石材等 {10箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
26	伊佐伊利原遺跡	R1. 8. 31	宜野湾市教育委員会教育長	個人	土器、石器、青磁、白磁、染付、沖縄産陶器、獣骨、貝等 {24箱}	宜野湾市教育委員会
27	大堂原貝塚	R1. 12. 12	名護市教育委員会教育長	国立療養所沖縄愛楽園園長	土器 {15点}	名護市教育委員会
28	(場所) 沖縄県宜野湾市字喜友名、安仁屋、普天間(西普天間住宅地区返還跡地内)	R2. 1. 24	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	土器、青磁、白磁、染付、沖縄産陶器、本土産陶磁器、厨子甕、金属製品、貝類 等 {22箱、箱外1点}	宜野湾市教育委員会
29	佐真下屋取古集落	R1. 12. 26	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	沖縄産陶器、本土産磁器 等 {5箱}	宜野湾市教育委員会
30	中城城跡	R2. 1. 24	中城村教育委員会教育長	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、獣骨等自然遺物 等 {10箱}	中城村教育委員会
30	普天間神宮寺	H31. 3. 14	宜野湾市教育委員会	個人	沖縄産陶器、瓦など	宜野湾市教育委員会
31	(場所) 沖縄県宜野湾市字喜友名(西普天間住宅地区返還跡地内)	R2. 1. 17	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	土器、青磁、白磁、染付、沖縄産陶器、本土産陶磁器、金属製品、貝類 等 {1箱}	宜野湾市教育委員会
32	宜野湾シリガーラ流域古墓群	R1. 9. 9	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	厨子(蔵骨器) 21基、副葬品(沖縄産陶器、簪、銭貨) 等 {9箱、ケース外21点}	宜野湾市教育委員会
33	楚辺親見原遺跡A・B・C	R2. 2. 19	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、石材、瓦 {34箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
34	喜友名山川原丘陵古墓群ほか	R1. 12. 25	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	厨子甕、土器、獣骨、簪 等 {12箱}	宜野湾市教育委員会
35	久手堅遺物散布地	R2. 3. 2	南城市教育委員会教育長	個人	土器、カムイヤキ、磁器、沖縄産陶器 等 {1箱}	沖縄国際大学
36	宮城平田原壕群 宮城平田原古墓群 宮城平田原遺跡	H30. 3. 30	那覇市教育委員会教育長	航空自衛隊那覇基地司令	瓦片・陶磁器片・海産貝・獣骨等 コンテナ8箱	那覇市教育委員会
37	真珠道跡(識名坂地区)	H30. 8. 31	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	沖縄産陶器・本土産磁器など コンテナ2箱	那覇市教育委員会
38	久茂地村跡	H30. 9. 27	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	中国産磁器・沖縄産陶器・本土産磁器・木製品等 コンテナ61箱	那覇市教育委員会
39	安次嶺石大名原壕	H30. 8. 30	那覇市教育委員会教育長	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊長	ガラス瓶・レンガ・木材・金属製品等 コンテナ9箱	那覇市教育委員会
40	末吉村跡	H31. 1. 31	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	沖縄産陶器・本土産陶磁器 コンテナ33箱	那覇市教育委員会
41	壺屋古窯群	H30. 11. 21	那覇市教育委員会教育長	個人	陶磁器片など コンテナ6箱	那覇市教育委員会

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
42	崇元寺跡	R1. 8. 29	那覇市教育委員会教育長	沖縄県知事	旧崇元寺橋欄干1本	那覇市教育委員会
43	真地御殿後原遺跡	R1. 12. 6	那覇市教育委員会教育長	光明寺代表役員	中国産白磁・徳之島カマイ窯須恵器・滑石製品・土器・サンプル土等 コンテナ24箱	那覇市教育委員会
44	壺屋古窯群	R1. 12. 4	那覇市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器など8点	那覇市教育委員会
45	壺屋古窯群	R1. 11. 29	那覇市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器・窯道具など コンテナ40箱	那覇市教育委員会
46	末吉村跡	R2. 1. 23	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	沖縄産陶器・本土産陶磁器 コンテナ32箱	那覇市教育委員会
47	鏡水水溜屋原B遺跡	R2. 3. 26	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所長	土器片・石器片・自然科学分析用 土壌等 コンテナ7箱	那覇市教育委員会
48	山川陵	R2. 3. 31	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産陶磁器・本土産陶磁器・沖縄産陶器・瓦・獣骨・銭貨等 コンテナ5箱	那覇市教育委員会

### (5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	渡口・和仁屋近世 古墓群	H30. 12. 6	北中城村教育委員会教育長	沖縄県知事	厨子甕(1点)	北中城村教育委員会
2	勝連城跡	H17. 10. 4～ 12. 16、 H18. 6. 7～ 10. 6、 H19. 6. 11～ 11. 16、 H20. 7. 1～ 10. 31、 H22. 8. 1～ 11. 30、 H24. 9. 3～ 12. 26、 H25. 9. 2～ H26. 3. 7、 H26. 7. 1～ H27. 3. 26、 H27. 9. 30～ H28. 3. 25、 H28. 9. 26～ H29. 3. 3、 H30. 10. 1～ H31. 3. 29	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器、土器、瓦、獣骨類、貝類、石器、鉄製品、鉄製品(275箱)	うるま市教育委員会

### (6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・ 性格及び遺構等
1	金武鍾乳洞遺跡	金武町	沖縄国際大学総合文化学部 社会文化学科 教授 上原 静	学術調査	グスク時代、 集落跡



(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	真珠道跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	田村 薫	保存目的の範囲確認調査	グスク・近世、交通遺跡
2	松崎馬場跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	田村 薫	保存目的の範囲確認調査	グスク・近世、交通遺跡
3	大堂原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城 智浩	開発事業（観光開発）	縄文・弥生～平安並行、散布地
4	久志貝塚	名護市	名護市教育委員会	比嘉 貴子	開発事業（その他建物）	弥生～平安並行、集落跡
5	根謝銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合 龍己	保存目的の範囲確認調査	グスク、城館跡（グスク）
6	真喜屋平田遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	比嘉 貴子	開発事業（住宅）	近世、散布地
7	普天間石川原遺跡	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	具志堅 清大 荻堂 匠美	開発事業（宅地造成、住宅）	縄文・グスク・近世・近代、集落跡
8	中城御殿跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	田村 薫	保存目的の範囲確認調査	グスク・近世、城館跡
9	仲村渠殿遺跡	南城市	南城市教育委員会	勢理客 宣子	開発事業（住宅）	グスク、その他遺跡
10	伊佐伊利原遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	金城 りお	開発事業（住宅）	縄文・グスク・近世、散布地・生産遺跡
11	上之島遺跡	名護市	名護市教育委員会	比嘉 貴子	開発事業（その他開発）	グスク・近世、集落跡
12	安谷屋・新城インジャー流域古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村 毅	開発事業（その他開発）	近世・近代、墓
13	平安山ヌ上集落跡、下勢頭集落跡	北谷町	北谷町教育委員会	山城 安生	開発事業（道路、その他建物）	近世・近代、集落跡
14	末吉村跡	那覇市	那覇市	樋口 麻子	開発事業（公園造成）	近世、集落跡
15	饒平名シマヌハー御嶽遺跡群	名護市	名護市教育委員会	比嘉 貴子	開発事業（道路）	グスク・近世、散布地・集落跡・貝塚
16	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	澤浦 亮平	学術研究	旧石器・縄文・弥生～平安並行・グスク、散布地
17	真地御殿後原遺跡	那覇市	那覇市	仲宗根 啓 樋口 麻子 島 弘	開発事業（その他開発）	グスク、散布地
18	嘉手納貝塚東遺跡	嘉手納町	嘉手納町教育委員会	宮里 知恵	開発事業（公園造成）	縄文・グスク、集落跡
19	壺屋古窯群	那覇市	那覇市	天久 瑞香 島 弘	開発事業（住宅）	近世、生産遺跡
20	大堂原貝塚	名護市	名護市教育委員会	比嘉 貴子	開発事業（その他開発）	縄文・弥生～平安並行、貝塚
21	楚辺親身原遺跡A・B・C	読谷村	沖縄県立埋蔵文化財センター	瀬戸 哲也	開発事業（道路）	縄文・グスク、集落跡
22	伊佐上原遺跡群A地点	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	大堀 皓平	保存目的の範囲確認調査	縄文・グスク、集落跡
23	壺屋古窯群	那覇市	那覇市	樋口 麻子	開発事業（住宅）	近世、生産遺跡
24	久手堅遺物散布地	南城市	南城市教育委員会	勢理客 宣子	保存目的の範囲確認調査	近世、散布地

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
25	御物グスク	那覇市	那覇市	仲宗根 啓 江上 輝	保存目的の範囲確認調査	グスク、城館跡 (グスク)
26	喜友名山川原丘陵 古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育 委員会	金城 りお	開発事業 (区画整理)	近世・近代、 墓
27	宜野湾シリガール流 域古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育 委員会	長濱 建起	開発事業 (その他開発)	近世・近代、 墓
28	佐真下屋取古集落	宜野湾市	宜野湾市教育 委員会	長濱 建起	開発事業 (その他開発)	近代、集落跡
29	名城遺跡、喜屋武古グ スク、喜屋武遺跡	糸満市	糸満市教育委 員会	外間 裕一	開発事業 (道路)	弥生～平安並 行、貝塚
30	玉御殿	伊是名村	伊是名村教育 委員会	大城 正泉	保存目的の範囲確認調査	近世、城館 跡・墓
31	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物 館・美術館	澤浦 亮平	学術研究	旧石器・縄 文・弥生～平 安並行・グス ク、散布地
32	鏡水水溜屋原B遺 跡	那覇市	那覇市	當銘 由嗣	開発事業 (道路)	縄文、集落跡
33	山川陵	那覇市	那覇市	仲宗根 啓 江上 輝	保存目的の範囲確認調査	近世、墓
34	根謝銘城跡	大宜味村	大宜味村教育 委員会	寄合 龍己	保存目的の範囲確認調査	グスク、城館 跡
35	大工廻八所集落跡 B地点	沖縄市	沖縄市教育委 員会	比嘉 二規	開発事業 (その他開発)	近代、集落跡

### (8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「文化財三次元計測課程」	令和元年11月18日～ 11月22日	横尾 昌樹	うるま市教育 委員会
2	文化財担当者専門研修 「文化財写真課程」	令和元年11月25日～ 12月5日	比嘉 紗恵里	南城市教育委 員会
3	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和元年12月5日～ 12月12日	玉城 綾	沖縄県立埋蔵 文化財セン ター
4	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和元年12月5日～ 12月12日	寄合 龍己	大宜味村教育 委員会
5	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和元年12月12日～ 12月19日	玉城 綾	沖縄県立埋蔵 文化財セン ター
6	文化財担当者専門研修 「史跡保存活用計画策定課程」	令和2年2月3日～ 2月7日	鈴木 悠	那覇市

### (9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	八重瀬町	30 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化 財	地域を定めず指定さ れた天然記念物
2	宜野湾市	30 沖経申採特第1号	可燃性天然 ガス	採掘	該当なし	該当なし
3	宮古島市	31 沖経出採般第1号	石油・可燃 性天然ガス	採掘	周知の埋蔵文化 財	周知の天然記念物 及び地域を定めず 指定された天然記念 物

## 6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

### （1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。

### （2）円覚寺跡整備委員会 建築部会

令和元年10月24・25日（沖縄県立博物館・美術館(憐国建 会議室 K's) 第1回 建築部会

令和元年度は、前年度に引き続き、平成28年10月に文化庁にて開催された「史跡等における歴史的建造物の取扱いに関する専門委員会」における三門復元の基本設計等について審議結果を踏まえて円覚寺跡復元整備委員会建築部会を開催し、仏教や古建築の専門家により三門について検討を行い、実施設計図を完成した。

### （3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所推移

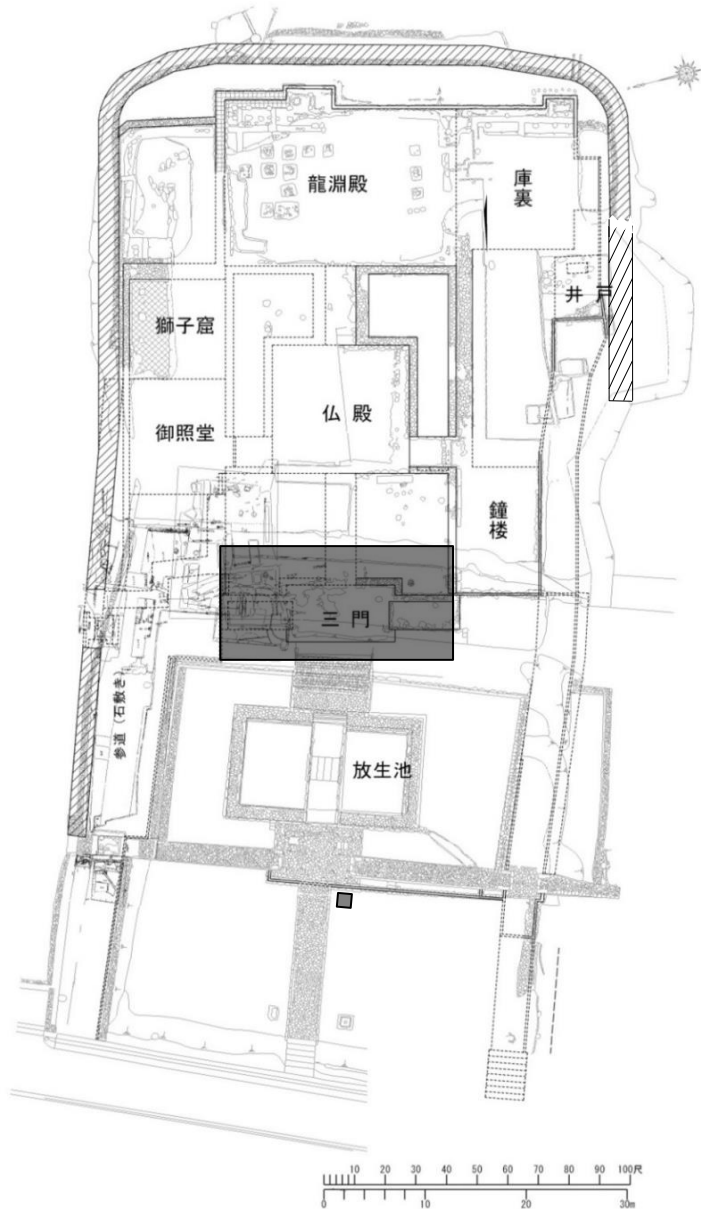
（単位：千円）

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	工事経費 28,822.5	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9,861	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730.668 ・地耐力調査 4,730.668

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成24年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	三門復元基本設計	1,056	844	工事経費 0	委託料費 712.80 ・測量 712.80
平成28年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料費 13,359.60 ・実施設計 12,852.00 ・磁気探査 507.60
平成29年度	三門復元実施設計	10,063	8,050	工事経費 0	委託料費 5,724.00 ・実施設計 5,724.00
平成30年度	三門復元実施設計 三門遺構調査	13,844	11,075	工事経費 0	委託料費 13,165.20 ・実施設計 13,165.20
令和元年度	三門復元実施設計 琉球政府設置標柱撤去	27,938	22,350	工事経費 0	委託料費 23,540.00 ・実施設計 23,320.00 ・標柱撤去 220.00

令和元年度 円覚寺跡保存整備事業箇所平面図

沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

令和元年度 復元検討箇所及び標柱撤去

## 7. 新たに国の指定になった文化財

### (1) 重要文化財（古文書）の指定

#### ①『琉球国時代石碑』 25 基

種 別：重要文化財（古文書）

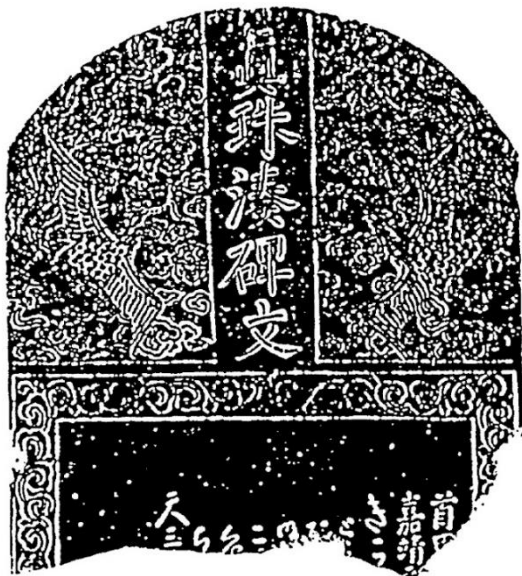
所 在 地：沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター

所 有 者：沖縄県

指定をする理由：沖縄では、多くの石碑が建立されたが、ほとんどが戦災で傷つき、原位置を離れて別置保存されている。これらの石碑は沖縄県立博物館・美術館等に保管され、一部は展示されている。最古の石碑は第一尚氏時代の尚巴志代にあたる1427年の「安国山樹花木記之碑」である。このほか、慶長14年（1609）島津氏の琉球侵攻以前の古琉球の石碑に限っても6点を数え、紙史料の伝存が少ない中で貴重な文字史料となっている。

（第一尚氏～第二尚氏時代）

官 報 告 示：令和元年7月23日付け 文部科学省告示第26号



■真珠湊碑



■安国山樹花木記碑

### (2) 重要文化財（歴史資料）の指定

#### ①『伊江御殿家関係資料』 146 点

種 別：重要文化財（歴史資料）

所 在 地：那覇市歴史博物館

所 有 者：個人蔵

指定をする理由：伊江御殿家は、第二尚氏4世の尚清王7男の尚宗賢伊江王子朝義（1538～1586）を祖とする尚家の分家の王族で、11世朝忠（朝直、1818～1896）の代に近代を迎えた。歴代首里王府の要職を歴任したが、とくに朝忠は、同治11年（1872）に慶賀使正使として東京に赴き、また同年から光緒2年（1876）まで摂政職を務めるなど重職を担った。本件は、同家に伝来した文書・記録類145点及び墨跡1点の計146点で、文書・記録類は家譜類、履歴関係記録からなる記録類と、辞令書、生子証文、口上覚等からなる古文書類に大別される。これらは同国の王族における家譜及び家譜編纂に関わる文書、記録類がまとめて伝存する稀有な例で、同家の歴史のみならず同国の家制、職制、文化を知るうえで充実した資料群として政治史、文化史上価値が高い。

(第二尚氏時代～明治時代)

官 報 告 示：令和元年7月23日付け 文部科学省告示第26号



■向姓家譜太宗



■向姓家譜仕次

②八重山蔵元絵師画稿類 (宮良安宣旧蔵) 90点

種 別：重要文化財 (歴史資料)

所 在 地：石垣市立八重山博物館

所 有 者：石垣市

指定をする理由：19世紀の琉球国八重山蔵元の絵師が描いた画稿類の一括資料である。蔵元は琉球国の離島統治機関であり、八重山蔵元は明治30年(1897)に廃止された。蔵元絵師は、寺社の絵画制作、年中行事等の風俗画制作に加え、漂着船等の記録画や貢納布御絵図帳の作成、さらには地図の作成に従事した。本画稿類は最後の蔵元絵師であった宮良安宣(1862～1931)が旧蔵していたもので、喜友名安信、宮良安宣等蔵元絵師等の手になる下絵、習作類である。画題は豊年祭、祝日の行列図や旗頭等の祭礼・風俗を描いたものが最も多く、他に機織・紡織・布晒や稲刈等の貢納に関する生業図、漂流民や船等の記録画、及び花鳥図等がある。19世紀後半の第二尚氏時代から明治時代における八重山の文化や自然を蔵元絵師が幅広く描いた稀有な資料群であり、同地域の文化史、琉球絵画史等を研究する上で資料価値が高い。

(第二尚氏時代～明治時代)

官 報 告 示：令和元年7月23日付け 文部科学省告示第26号



■異人風俗図



■男女の図

### (3) 記念物の新規指定

#### 白保竿根田原洞穴遺跡

名称：「白保竿根田原洞穴遺跡」

種別：史跡

指定地：沖縄県石垣市字盛山東牛種 222 番33 他 1 筆

指定面積：3,298.46㎡

所有者：沖縄県

指定をする理由： 沖縄県石垣市に所在する更新世末期の墓地遺跡である。琉球列島の西端に位置する八重山諸島の一つ石垣島の東海岸に位置する。遺跡は、東西全長約 1 km の鍾乳洞の天井が崩落したことで生じた陥没穴の開口部及びその内部に続く洞内緩斜面からなる。約 5 万年前までに洞天井が崩落して開口し、そこから風成の洞穴斜面堆積物が形成される中で遺跡の利用が開始している。文化層は旧石器時代に並行する更新世終末期から近世までの時期が確認され、更新世に属する人工遺物が未確認ではあるが、更新世及び完新世初頭、下田原期の風成堆積層中には、20 個体に上る化石人骨が含まれることが明らかとなった。このうち崩落した岩石の隙間から出土した更新世の 4 号人骨は埋没時の解剖学的な結合状態を推定できたことから、仰臥屈葬姿勢を示すことが判明した。他の人骨集中も、人骨の状態及び出土状況から見て墓葬の単位を表すことが考えられる。それらの年代値は約 27,000～20,000 年前（較正年代）であることから、本遺跡は、長期にわたって利用された墓域であったと推定できる。同様の葬送は完新世初頭から下田原期にも認めることができる。本遺跡は、多量の化石人骨を伴って更新世末期の墓葬及び墓域が発見された日本で初めての事例であり、完新世初頭から縄文時代後期相当期の墓葬と合わせて、石灰岩洞穴や岩陰を利用した葬送習俗の長い歴史をたどることを可能とした。人骨そのものからも遺伝学的、形質人類学的な重要知見をもたらした画期的な意義を持つ遺跡である。

官 報 告 示：令和 2 年 3 月 10 日 文部科学省告示第 17 号



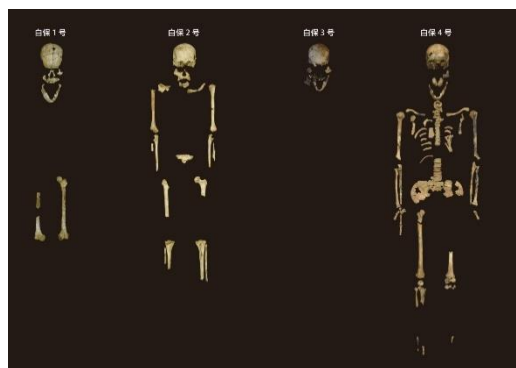
遺跡全景



遺跡遠景(北西より)



4号人骨検出状況(遠景)



出土人骨

#### (4) 記念物の追加指定

##### アマミクヌムイ

名 称：「アマミクヌムイ」

種 別：名勝

既 指 定 地：沖縄県国頭郡今帰仁村今泊4874番外 1筆

沖縄県南城市知念久手堅久高 433 番外 1筆

沖縄県南城市知念久手堅サヤハ 433 番外 3筆等

沖縄県浦添市伊祖三丁目 803 番外 23筆等

沖縄県那覇市首里鳥堀町四丁目 121 番地外 1筆等

追 加 指 定 地：沖縄県南城市玉城字玉城門原 439 番2外 8筆等

沖縄県沖縄市城前町 359 番2外 5筆

既 指 定 面 積：310,413.79㎡

追 加 指 定 面 積：27,487.45㎡

(内訳：25,462.68㎡・南城市、2,024.77㎡・沖縄市)

指 定 面 積 総 合 計：337,901.24㎡

所 有 者：南城市、沖縄市等

指 定 を す る 理 由：琉球開闢神であるアマミクの伝説地。調査研究により特定された13か所11地域のうち、既指定の6か所5地域に、南城市の「玉城アマツ」(玉城グスク)及び沖縄市の「ごゑく」(越来グスク)の2か所2地域を追加指定する。

官 報 告 示：令和元年10月16日付け 文部科学省告示第85号



玉城アマツ (玉城グスク)：南城市  
アマチジ御嶽



玉城アマツ (玉城グスク)：南城市  
玉城按司の墓



ごゑく (越来グスク)：沖縄市  
城前公園俯瞰



ごゑく (越来グスク)：沖縄市  
越来グスクの拝所 (ギークヌウガンジュ)



## 8. 新たな重要文化的景観の選定

### (1) 重要文化的景観の選定

#### ①今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観

種 別：重要文化的景観

所 在 地：沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊の全域（普通河川志慶真川を含む）並びに海域

所 有 者：今帰仁村他

選 定 面 積：683.3 ha（内訳：陸域面積・486.0 ha、海域面積・197.3 ha）

選定をする理由： 沖縄島北西部から東シナ海に突き出す本部半島の北側中央部に位置し、イノー（サンゴ礁の浅瀬）、海際の現集落、農地、段丘上の今帰仁城跡及び旧集落跡（史跡、世界遺産）、山林からなる。近世の集落移動に際し、河川や湧水が流れ込む広い低地が近く、海産物が豊富なイノーに面し、地下水が得られる微高地が適地とされたこと、また、北風や台風の影響を避ける工夫が不可欠であったことを全体として伝える景観であり、中でも、風から屋敷を抱護するフクギ屋敷林が、浜抱護や村抱護と共に緑豊かな住環境をつくり、際立った特徴をなす。低地に拡大された農地が隔てる旧集落跡と現集落は、集落立地の考え方が、城との関係性から生活や農業の利便性へと重点を移したことを示す。一方で、沖縄固有の自然崇拝に基づく祭祀や芸能は、集落移転後も継承され、クバの御嶽や城跡をはじめ、山から浜までの各拝所等で現在も行われている。こうした特徴や特性は、亜熱帯気候に属する島嶼群である沖縄県の集落の成り立ちを知る上で示唆に富み、かつ、地域的な慣習や信仰と景観との関わりを良好に伝えるものであり、我が国の生活及び生業の理解に欠くことのできない文化的景観として貴重である。

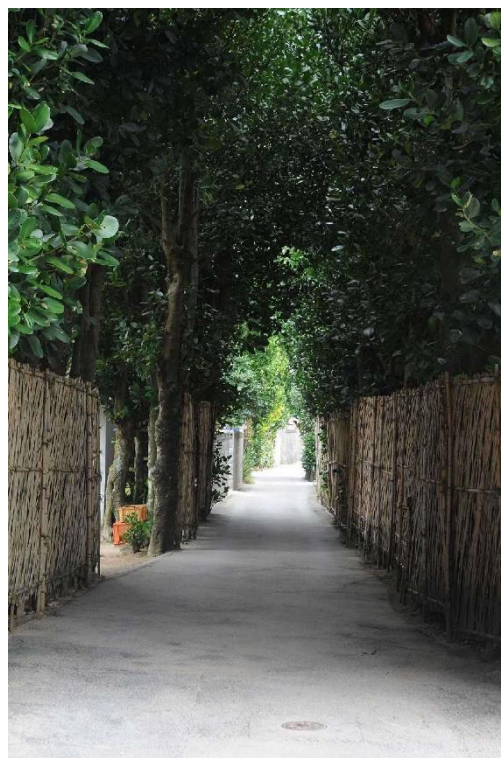
官 報 告 示：令和元年10月16日付け 文部科学省告示第88号



海からの空撮



拝みの状況



集落内の街路

## 9. 指定文化財管理

### (1) 国指定文化財管理事業

#### ① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

#### ② 事業内容

##### 1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

##### 2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

##### 3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

#### ③ 事業主体

沖縄県

#### ④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	令和元年度 実績額	総事業費	備 考
国 指 定 重 要 文 化 財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	22,276	(昭55～平30)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	19,693	(昭54～平30)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	2,352	(平15～平30)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	3,808	(平17～平30)
合 計				1,101	48,129	

## 10. 文化財愛護事業

### (1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年36点(12校)、小学校3・4学年72点(22校)、小学校5・6学年75点(22校)、中学校84点(15校)、高等学校46点(5校)、合計313点(56校)の応募があった。

審査会:令和元年10月8日(火)13時30分～17時 沖縄県立総合教育センター多目的ホール  
 審査員:上原 進(県立総合教育センター研究主事) 二宮 陸生(西原町立西原東中学校教頭)  
 大城 直也(南風原町立翔南小学校教頭) 知念 明香(県立北中城高等学校)  
 長嶺 まゆみ(県立泡瀬特別支援学校)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を10月30日(水)15時より県庁舎4階講堂で行い、10月28日(月)～11月1日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	米須 清瑛 (松田小)	毛呂 朱音 (カトリック小)	大城 勇氣丸 (名蔵小)
優秀賞	鈴木 玲音 (カトリック小) 田中 獅礼 (松田小)	大久保 空 (久部良小) 諸見 莉衣子 (松田小)	東 大祐 (平真小) 狩俣 光希 (西原東小)
佳作	石嶺 真鷲祐 (港川小) 池間 柚虹 (平真小) 高那 紋永 (竹富小) 松原 圭吾 (カトリック小)	上原 遥人 (粟国小) 豊島 侑弥 (カトリック小) 米須 妃音 (松田小) 又吉 丈 (大山小)	建川 雅仁 (多良間小) 高原 梨桜 (志真志小) 平田 杏南 (カトリック小) 森川 開斗 (カトリック小)
入選	8名	8名	8名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	名城 咲希 (那覇中)	宮里 なすか (開邦高)
優秀賞	石嶺 真麗乙 (港川中) 野原 小春 (竹富中)	大城 佳乃子 (開邦高) 久手堅 彰哉 (知念高)
佳作	大城 陽奈 (沖縄東中) 島袋 明恵 (真志喜中) 玉城 奏 (松城中) 仲本 陣 (那覇中)	黄金 蒼生 (首里高) 國吉 美波 (久米島高) 國吉 陽向 (久米島高) 納山 純菜 (具志川高)
入選	8名	8名

### (2)令和元年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成30年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生5・6年の部最優秀作品「にぎやかな首里城北殿」〔比嘉留菜さん 城西小学校5年(受賞当時)〕、中学校の部最優秀作品「イリオモテヤマネコ」〔飯森 晴香さん 港川中学校3年(受賞当時)〕を原面にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、公民館、博物館・文化財関係施設などに配付した。

## 11. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額：15,783千円（国12,626千円、県3,157千円）

事業種別：沖縄振興特別推進交付金

事業主体：沖縄県

事業期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業目的：沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍を6冊刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。

事業概要：沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。

平成29年度は「史跡・名勝編」、平成30年度は「埋蔵文化財編」の刊行を行い、小中学校、高等学校、公立図書館など655ヶ所に配布した。

令和元年度は「有形文化財編」の刊行、配布を行った。

実施体制：文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集については業務委託を行う。



みんなの文化財図鑑 有形文化財編